

ライフキャリア通信

本校HP QRコード

静岡県立中央特別支援学校

第1号

令和7年7月24日 発行



ライフキャリア通信では、進路選択や進路決定の一助となることと共に、卒業後の「豊かな生活」をめざして日々の生活や学びがより一層充実するような情報を発信していきたいと思います。その一つとして、高等部の現場実習の様子をお伝えしていきます。初回は高等部3年生です。

また、裏面には各学部より進路に関する情報を掲載しております。そちらも併せて御覧ください。なお、他学部のライフキャリア通信は本校のホームページより閲覧できるようになっています。

高等部3年生 現場実習まとめ『決める実習』

☆現場実習とは？

高等部卒業後の生活のイメージが持てるように、起床から就寝まで 24 時間単位で経験し、それが一定期間（高3は3～10 日程度）できる学校行事というイメージとなります。

実習で作業や活動などに取り組みますが、それが6時間であっても1日の 1/4 に過ぎません。残り 3/4 をどうするのかも大切になってきます。例えば放課後等デイサービスは、帰りの送迎時間を含めると、大体 17 時頃までサービスを受けることが可能ですが、通所施設になりますとほぼ全ての事業所がそれより早く終わります。送迎サービスの有無も事業所によって異なります。そのため、本人だけではなく同居する家族の生活がどう変化するのか、という気付きが得られるように御家庭にはアプローチをしています。

実習を行うことが目的ではなく、実習のために準備から振り返りまでの一連の流れの中で、様々な成果と課題に気付き、今後に生かすことが現場実習のねらいです。



☆高3の『決める実習』の意味は？

各学年の主な目的は、高1「知る」→高2「広げる、挑戦する」→高3「決める」。

高3の場合は、本人の「ここで働きたい（または通いたい）」という気持ちや、保護者の「ここに行ってほしい」という願いをふまえて実習に臨んでいます。

採用や利用の可否は、実習先が判断します。よって、「決まる」のは結果なので、学校としては生徒一人ひとりの「豊かな生活（自分に合う生活）」について、本人・家庭・学校でイメージを共有したりすり合わせたりしながら、「決める」プロセスを大事にしています。

☆高3までにやっておくべきことは？

家庭や学校などで取り組めていないことを、いきなり実習先で目標にして行うことは難しいです。「実習をちゃんとやる」ではなく、日々の積み重ねで学んだことを生かしていくことが大切になります。小学部や中学部であっても、例えば「今が充実することで、未来につながっていく」や「今取り組んでいることが、何につながっているのか？」という価値を抱いて行っているなら、将来に向けた学習になっています。

